

# 自転車は1人乗りの乗りものです!

2輪の自転車の乗車人員は1人を、3輪の自転車の乗車人員は乗車装置(幼児用座席を除く。)に応じた人数を超えないこと。ただし、次の場合この限りではありません。

16歳以上の運転者が

1. 幼児用座席に未就学児1人を乗車させる場合
2. 「幼児2人同乗用自転車」の幼児用座席に未就学児2人を乗車させる場合
3. 4歳未満の子供1人をひも等で確実に背負う場合  
2の場合を除きます(背負っている場合を含む子供3人同乗はできません。)

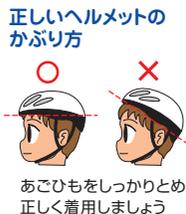


幼児2人同乗用自転車は、国内の安全基準であるSGマークやBAAマークなどの付いた安全な自転車を使用しましょう。

# ヘルメットとシートベルトは確実に!

自転車乗用中に転倒等で負傷した幼児の約半数が頭部・顔面部を負傷しています。大阪府警察調べ(令和2年中)

- 幼児を自転車に乗せる時は自転車用ヘルメットはもちろん、急ブレーキ等に備え、シートベルトもしっかり着用しましょう。
- スタンドを立てた状態で幼児を乗せたまま、自転車から離れないようにしましょう。



# 自転車運転者講習制度 14歳以上が対象

※公安委員会が講習の受講を命じる

一定の危険な違反行為をして3年以内に2回以上  
検挙され又は事故を起こした悪質自転車運転者

※受講命令に従わない場合

自転車運転者講習を受講  
■講習時間: 3時間  
■手数料: 6,000円

5万円以下の罰金

大阪府自転車条例

# 自転車保険の加入が義務化されています

自転車事故を補償する保険に加入しましょう

- ◆ 自転車安全整備店で点検・整備を受けると「TSマーク」を貼ってもらえます。
- ◆ 「TSマーク」には、点検日から1年間有効な賠償責任・傷害保険がついています。(詳しくはお近くの自転車安全整備店で)



1年に1度は、自転車安全整備店で点検・整備を受けましょう

# 車に乗せる時の注意

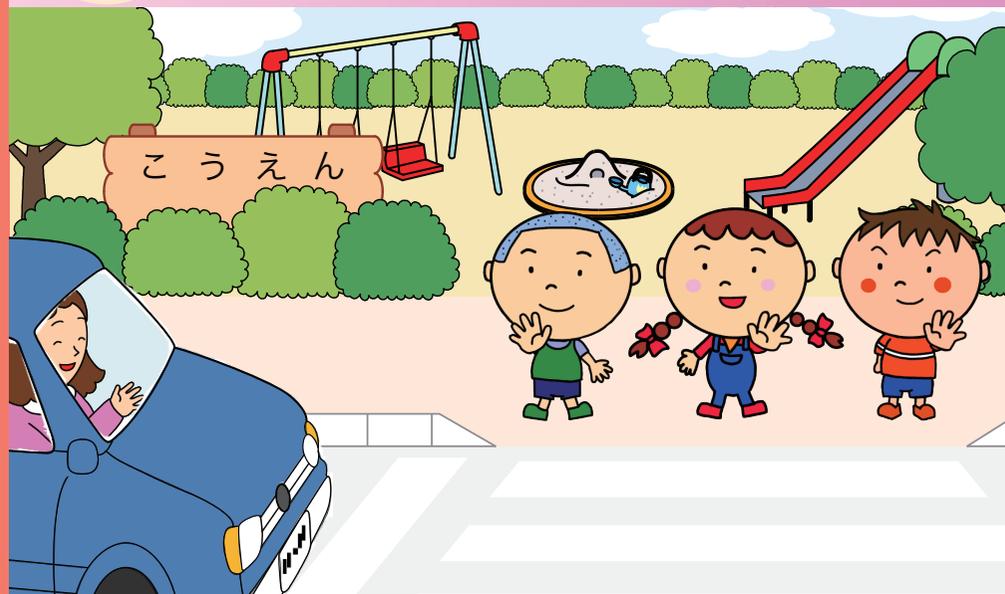
- 幼児(6歳未満)にはチャイルドシートを着用させなければいけません。
- 乗るときは最初に子供を乗せ、降りるときは最後に子供を降ろしましょう。
- チャイルドシートは後部座席に取り付けましょう。
- 取扱い説明書をよく読んで正しく使用しましょう。
- チャイルドロックを使用しましょう。



チャイルドシートは発育に応じて、体格に合わせて選びましょう

# 交通安全テキスト

# 1 幼児・保護者



# 『なっちゃんのこうつうあんぜんきょうしつ』

YouTube 大阪府警察交通部公式チャンネル



左記のQRコードを読み込んでください!



LINE

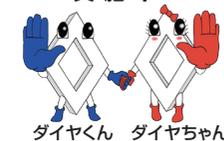
# 交通安全情報発信中!

LINE・YouTube で交通安全に関する情報を発信しています。QRコードを読み込んで、是非登録してください。



YouTube

# 横断歩道ハンドサイン運動 実施中!!



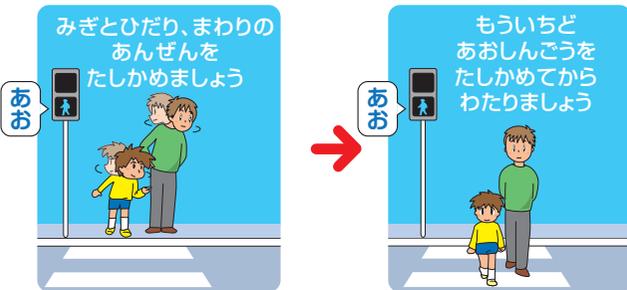
ダイヤくん ダイヤちゃん

# こうつうルールをまもりましょう

●あおでもくるまがまがってくるかもしれません！

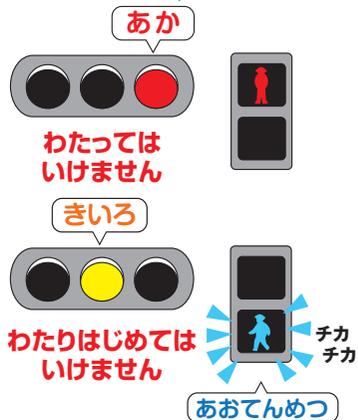


●あおになってもすぐにわたりはじめてはいけません



しんごうを  
まもりましょう

こんなときは



とびだしは  
やめましょう

こうさてんでは  
みぎ・ひだりをみて  
あんぜんを  
たしかめましょう

どうろで  
あそんでは  
いけません



おうだんほどうを  
わたりましょう

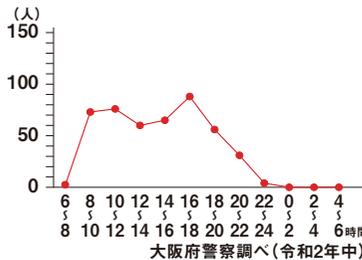


# 保護者の皆様へ

## 幼児の事故の特徴

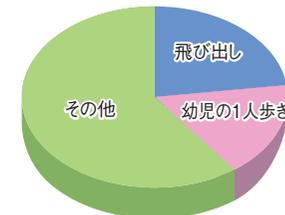
### 時間別の死傷者数

幼児の事故は、**昼から夕方**にかけて多発しています！



### 飛び出し危険！

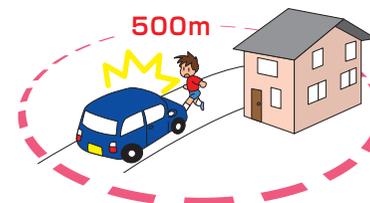
歩行中の幼児の交通事故の原因は**約2割**が飛び出しです。



過去3年間は飛び出しが約3割となっています。

### 自宅の近くで事故多発

幼児が歩行中及び自転車乗用中に死傷した交通事故の**約5割**が、自宅から**500m以内**で発生しています。慣れた場所でもしっかりと安全確認をしましょう。



## 子供を守るのは、保護者のみなさんです！

幼児は大人のマネをします。大人が良いお手本を示せば、幼児はそのとおりに行動します。保護者のみなさんが良いお手本となり、日常生活の中で交通ルールを繰り返し教えてください。

子供から  
目を離さないように  
しましょう



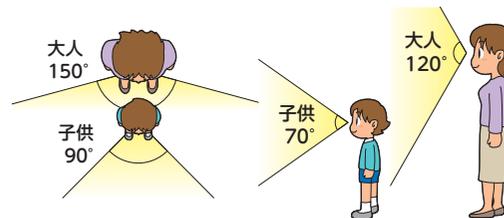
幼児は興味のあるものに注意が向くと周りが目に入らなくなる傾向があります。

車の近くや駐車場等で  
遊ばせないように  
しましょう



幼児は、ちょっとした物かげで遊びたがる傾向があります。

## 大人と子供の視野の違い



子供の視野は狭いので、安全確認する時は**首をしっかりと振って**、遠くまで見るよう指導してください。

